

家庭菜園

Q & A

問題解決!



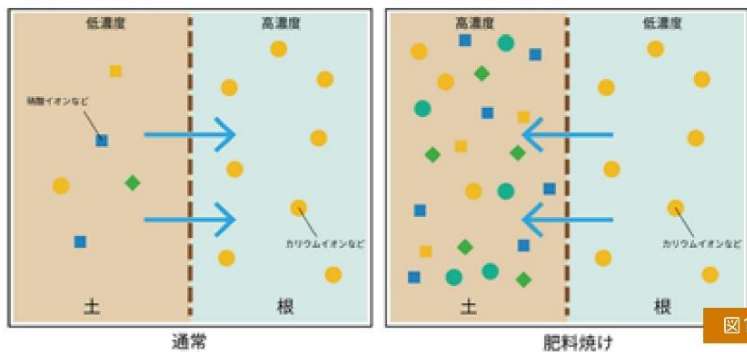
南部営農センター
園芸課
検校 哲也

Q1 「肥(こえ)あたり」「肥焼け」とか聞きますが、どうしてそうなるのですか。

A1 肥料焼けとも言いますが、多量の肥料成分により根が害を受け萎(しお)れることを、「肥があたつた」、「焼けた」とか言っています。場合によっては枯れてしまいます。肥料焼けは、萎凋(しやく)症状、葉焼け、根焼け、発芽不良などの症状が現れます。

植物が水分を根から取り込むとき、「浸透圧」によって水分が移動しています。濃度の薄い水と濃い水が隣接していると、濃度を均一(ひと)にする働きが生じて、薄いほうから濃いほうへ移動します(図1参照)。

通常、根の中の濃度が土中より高いので、水は根のほうへ吸われます。逆に、たくさん肥料が溶けて土中の濃度が高いと、根から水分が抜けてしまいます。施肥量が多過ぎた、根の近くに肥料が片寄ってしまった、土が乾燥



して肥料濃度が濃くなった場合などに肥料焼けが出ます。追肥の後に強い日差しを浴びて高温になった時などに出る葉焼けも肥料焼けの症状です。また、硫安や尿素、家畜糞尿資材を施用した後高温に遭

うと、アンモニアがガスとなって土中から出てきます。そうすると、葉が焼けたように白化します。これも肥料焼けです。根に直接肥料が当たって焼ける場合や、まいた種に肥料が触ると発芽障害を受ける場合もあります。

肥料焼けを防ぐには、①肥料をやり過ぎない、②未熟堆肥は使わない、③肥料を置く位置を注意してください。もし、焼けてしまったら、水で肥料分を薄めたり、土をかき混ぜて肥料を散らしてみてください。

「ごちそうを食へ過ぎて、胸焼けしたことはありませんか。植物も食へ過ぎに注意です。」

Q2 売ってる野菜の種は色がついてますが、なぜ?

A2 小さな種や土に似た色の種は困りますね。どこにまいたか何粒まいたか分からないのです。

青やピンク、緑色に着色された種は、便利です。これだと、何粒どんな間隔でまいたか分かります。(写真1)

このような種はコート種子と呼ばれ、着色剤とともにベンレートTなどの殺菌剤を加えた粘土



資材で覆われています。

絵袋の裏を見ると、チウムムペノミル各一回処理済みといった表記があります。種子消毒済みの種であって、播種直後の糸状菌(かび)繁殖を予防します。

播種作業をもっと効率的にするため、丸い形をしたコート種子もあり、ペレットと呼ばれています。大きいものは5ミリほどあり、セルトレイへ機械でまくときに使えます。(写真2)

ほとんどの種の色は土の色に似ていますが、これは動物に食べられないようにカモフラージュしていると考えられています。

ところが、その種を包む実は鮮やかな色をしている場合があります。色について熟した果実は甘くお

いしそこに見えます。これを鳥などの動物が食べて、どこかへ移動します。そこで糞といっしょに地面に種が落ちます。そうやって、植物は自分の子孫を広げようとしています。



写真2

オンライン農業塾はこちら
動画はコチラ

管内の病害虫情報はコチラ

家庭菜園情報はコチラ